

講義内容の 検討マップ

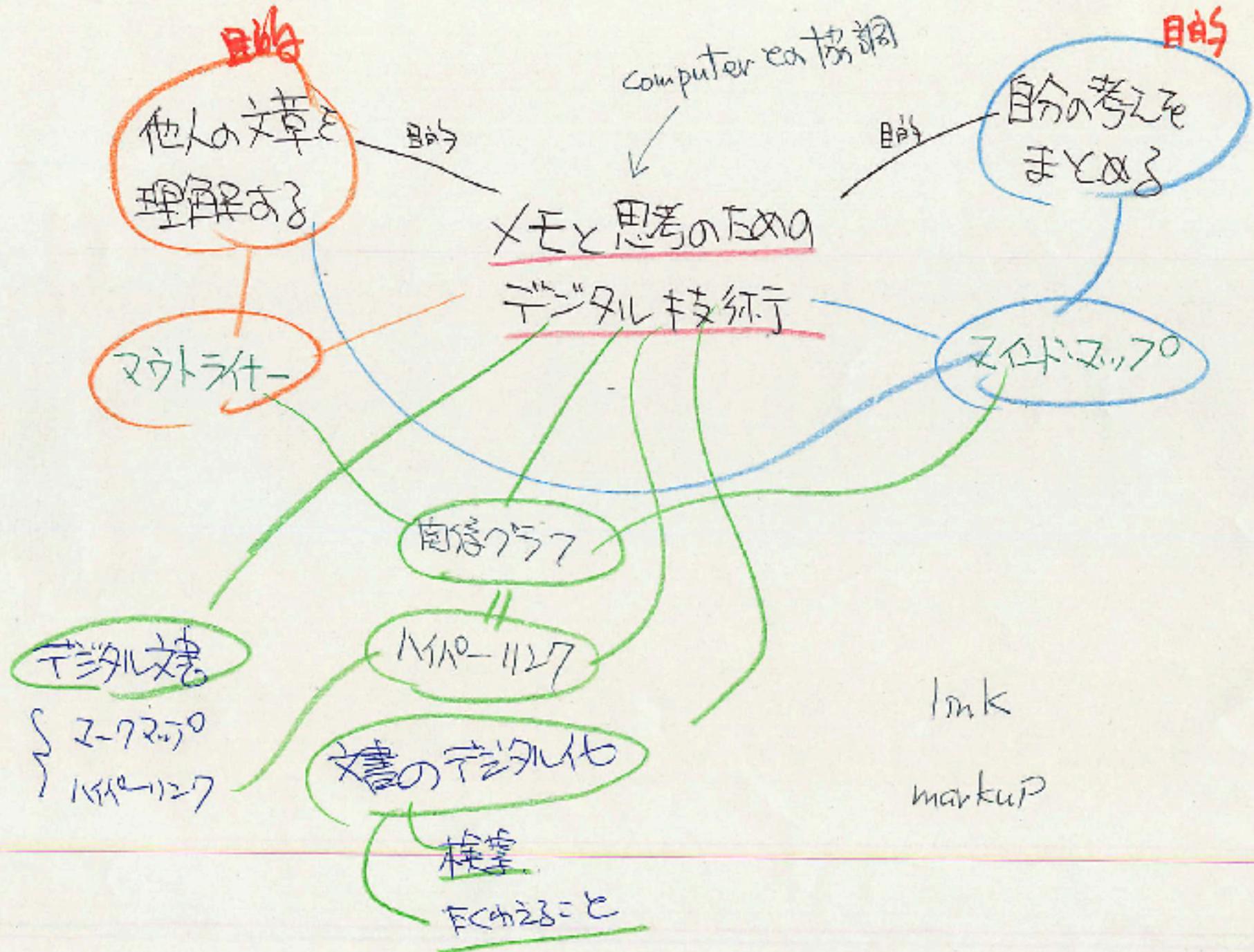
思考とともに身體とつなげて

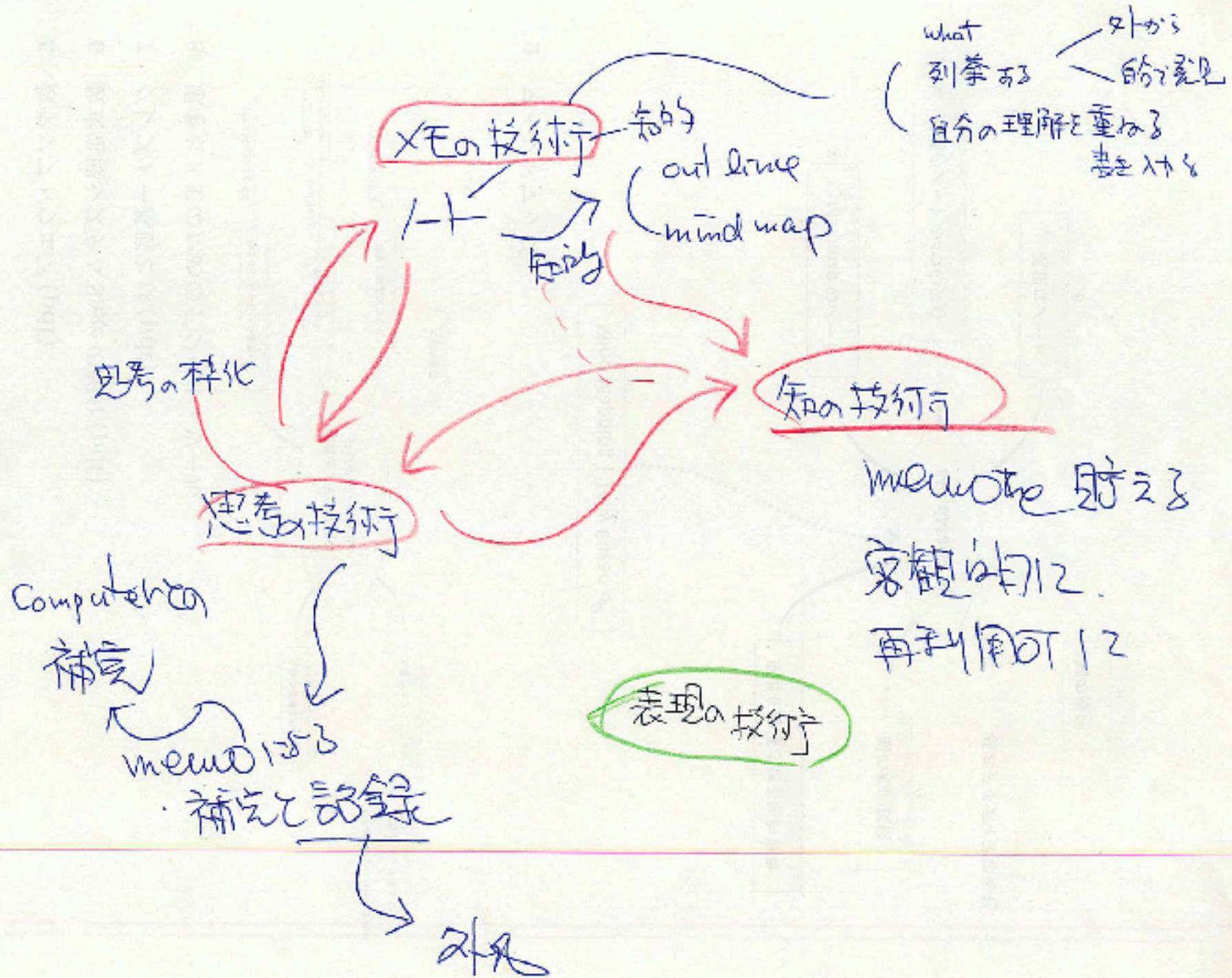
共有、 ← 違う自分、他人、と

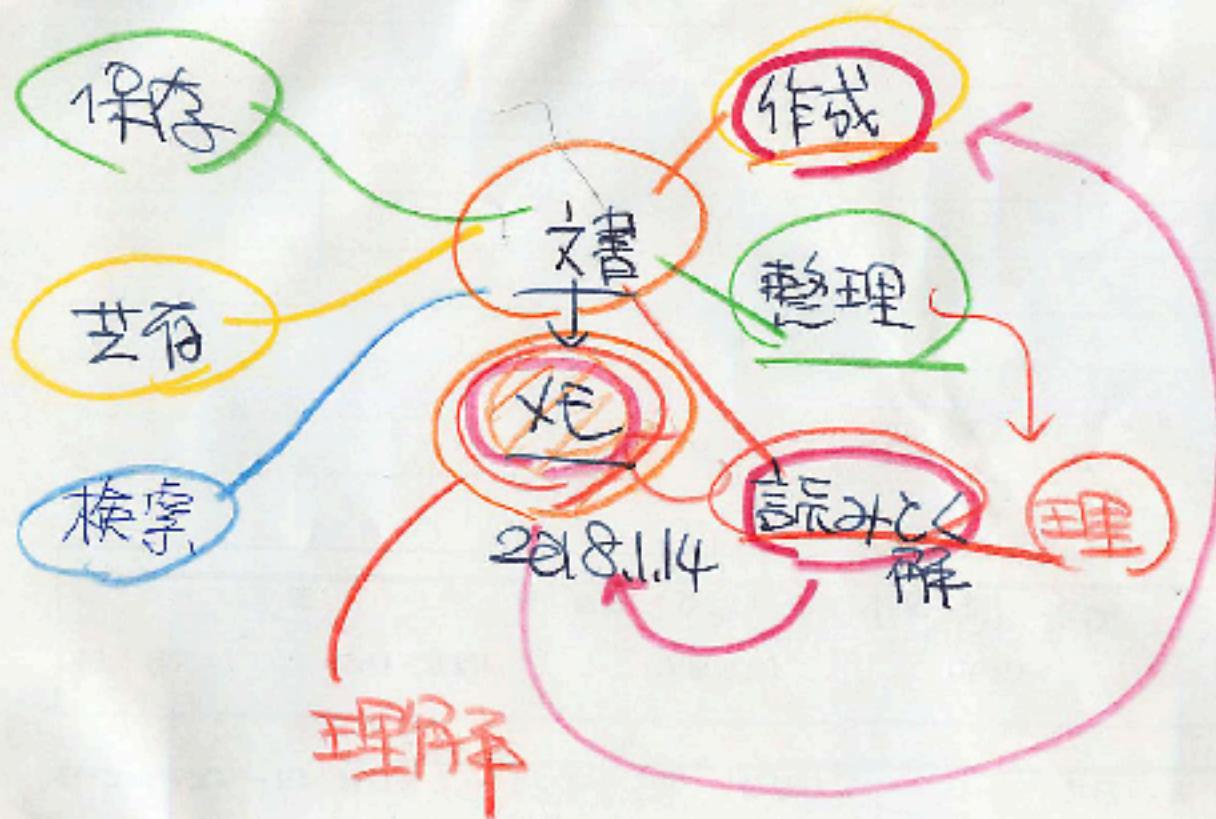
構造化

書き込みの意図、

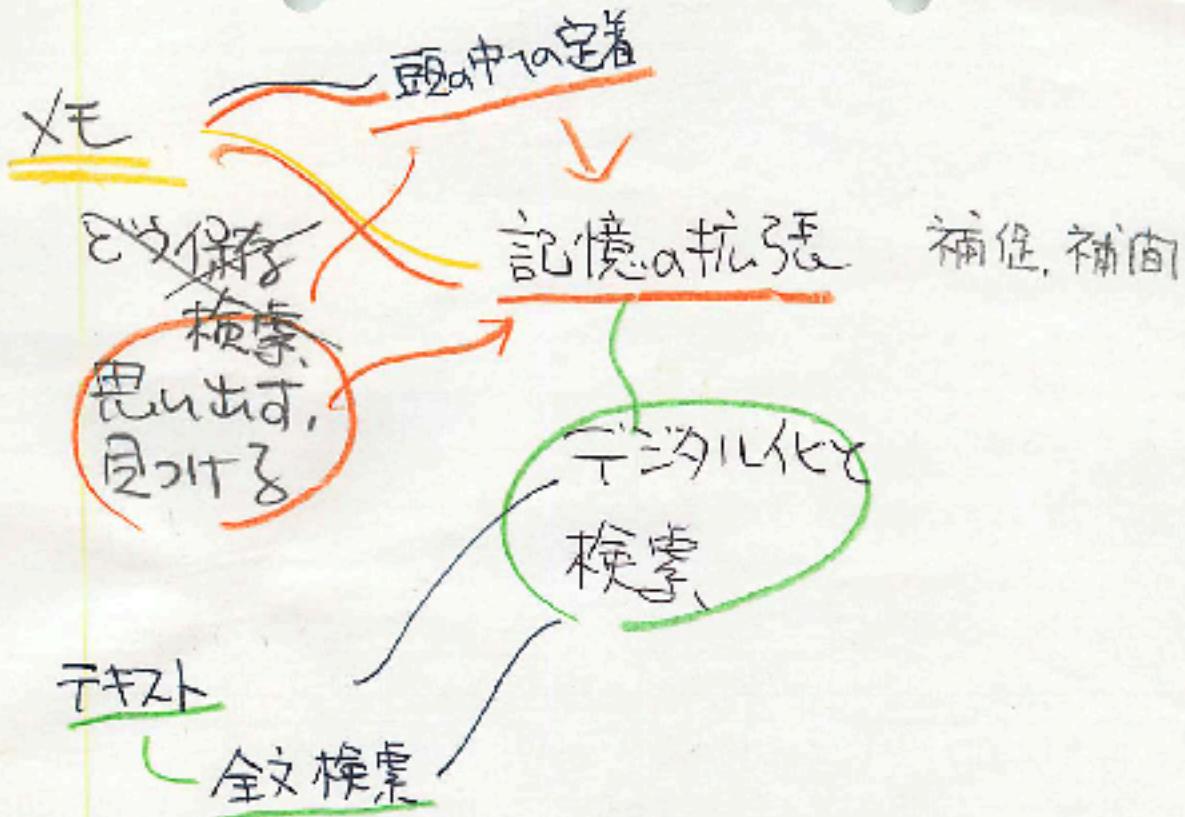
NEや知識もどこか違うの？







memo には



面倒
ごも
楽しい

デニタル
モード

× わざわざ

○ 思い出せる

全てもは
無理

ようになつ

(手筋)

メタ情報の

デジタル化

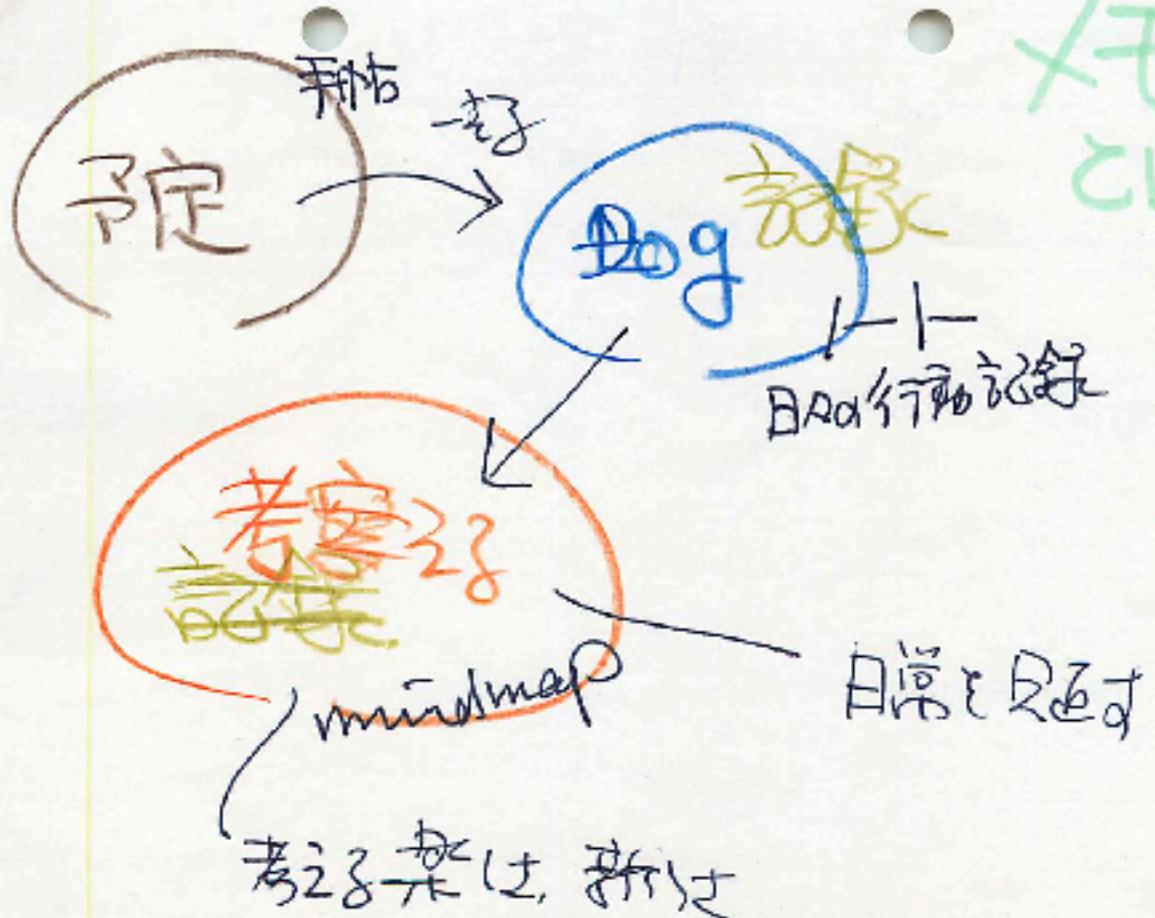
幸運
lucky

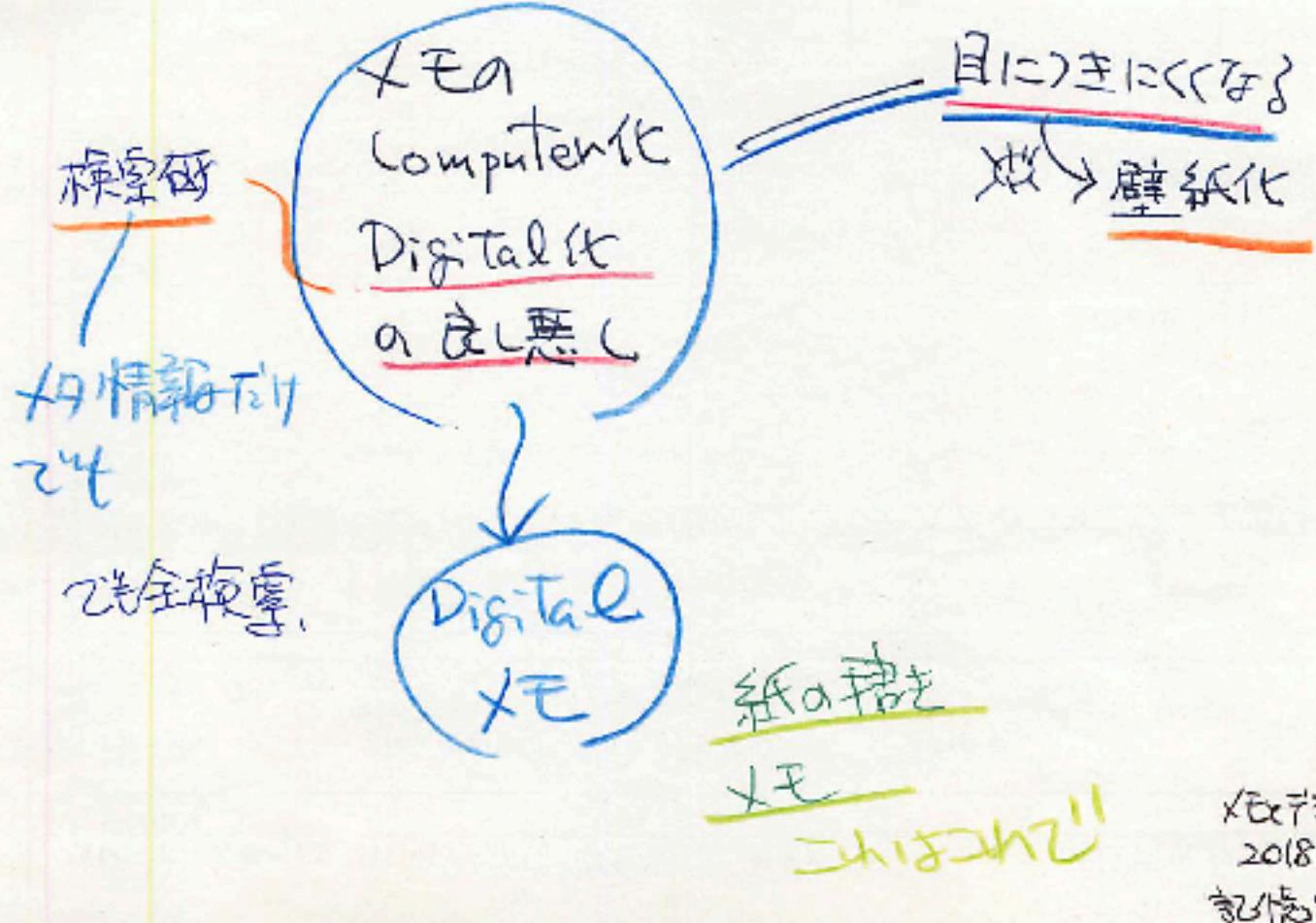
自分を信じる
つかまつたら

スキレット

2018.1.31
× デジタル化
記憶と検索

生
じは



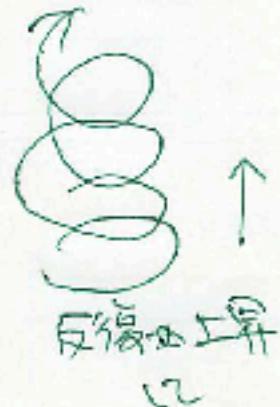
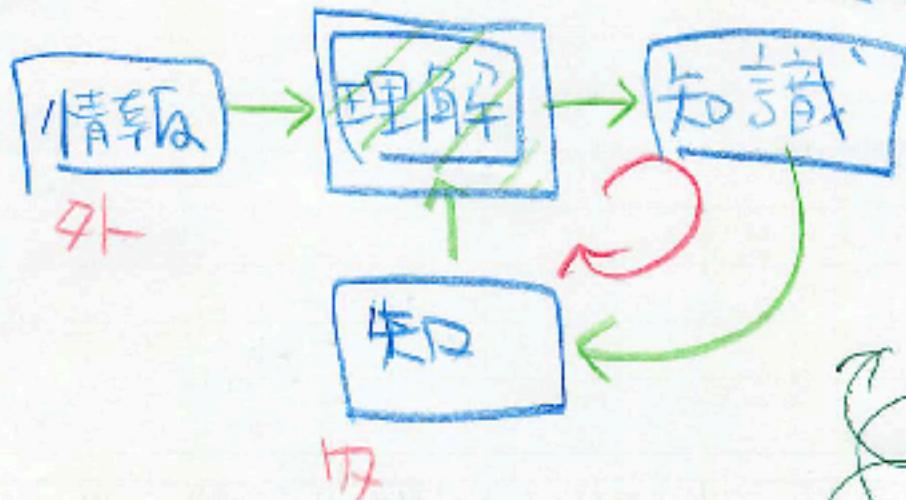


モデル化
 2018.1.31
 おもてなし

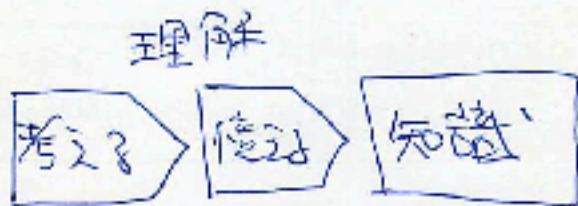
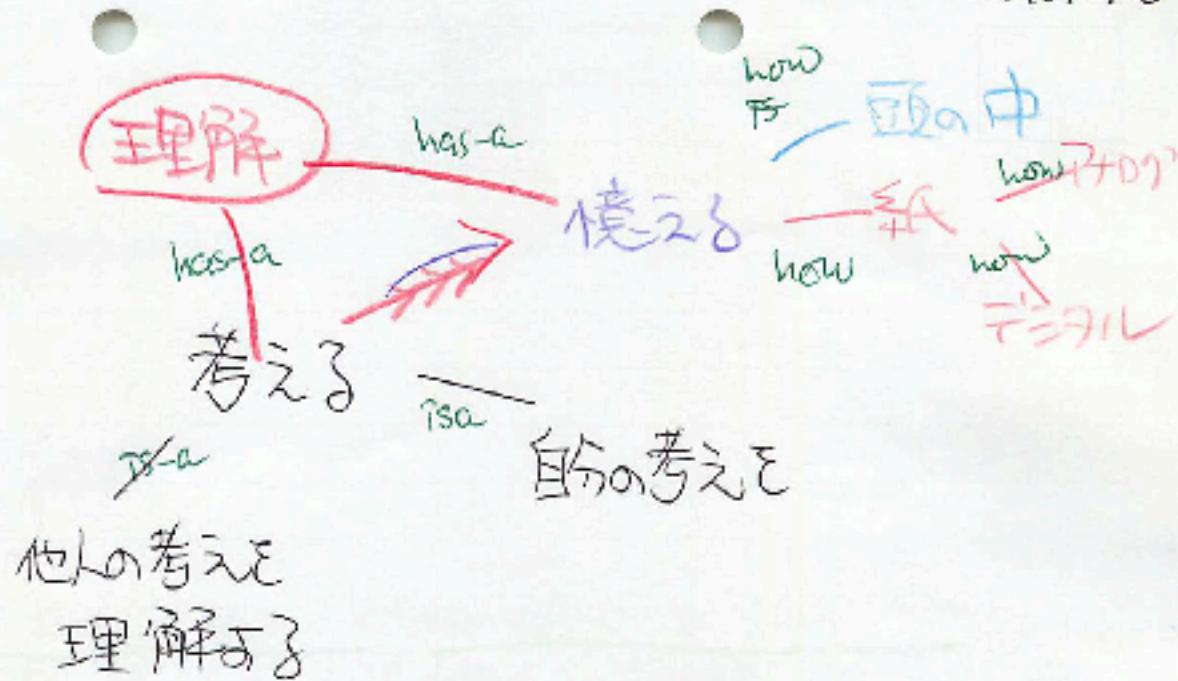
「理解」について
考えに

2018.2.10

「理解する」という事、
處理
反復
流れ



2018.2.0



情報

收集

言葉

表記

態度

(
 客觀見
 府觀見
) 思考に→思考する
 不思, ×

行為 ^{せうい} → 整理 ^{せいり} — 整理する

data ^{データ} 知識 ^{ちしき} — 知識する

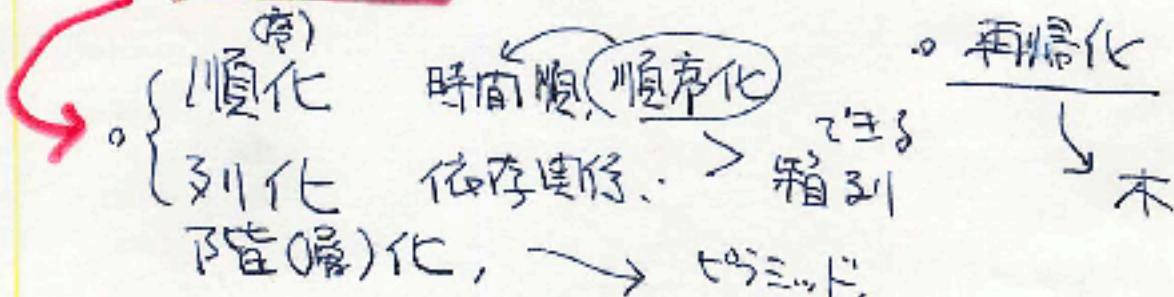
再記 ^{さいき} (憶) — 記憶する

行為 ^{せうい} 思考 ^{しもう} — 思考する 脳筋行い

再理解 ^{さいりやく} — 理解する

扱い易くなる
内に促進される

- **碎(組)化** セントラル ≈ module化? まとめて



- 構造化、○ ~~まとめて GTD が主子~~

~~これまた GTD~~

~~これをためるのがまた GTD~~ ちからこなしがある

- 表現 (C++ C# Python, mind2, 70)

仕事の合理化

2018.1.31 早朝
知的思考
技術

上から観る

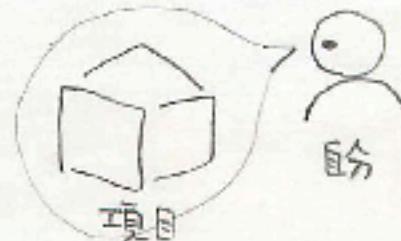
④
俯観

外から観る

③
客観

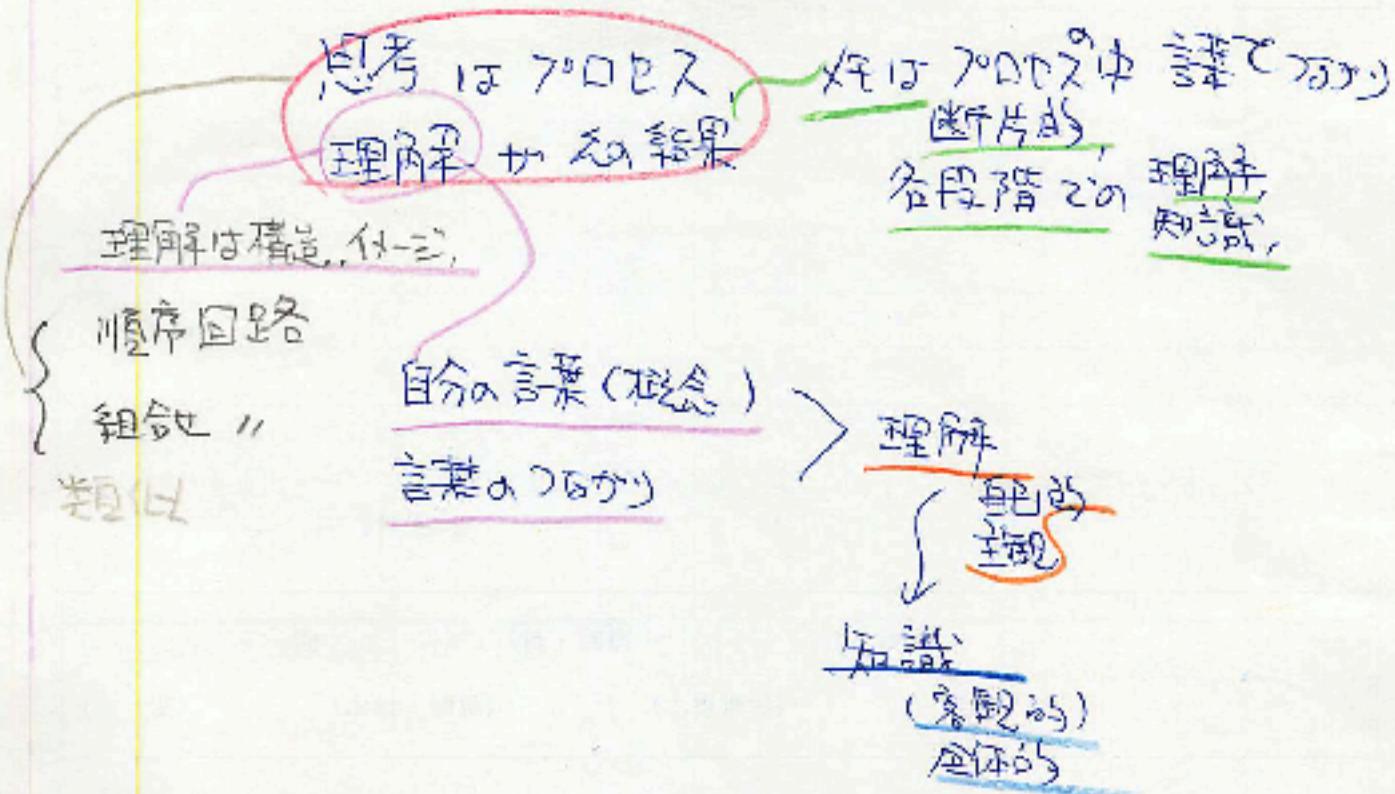
メタとは

史事の
{
視覚
聴覚



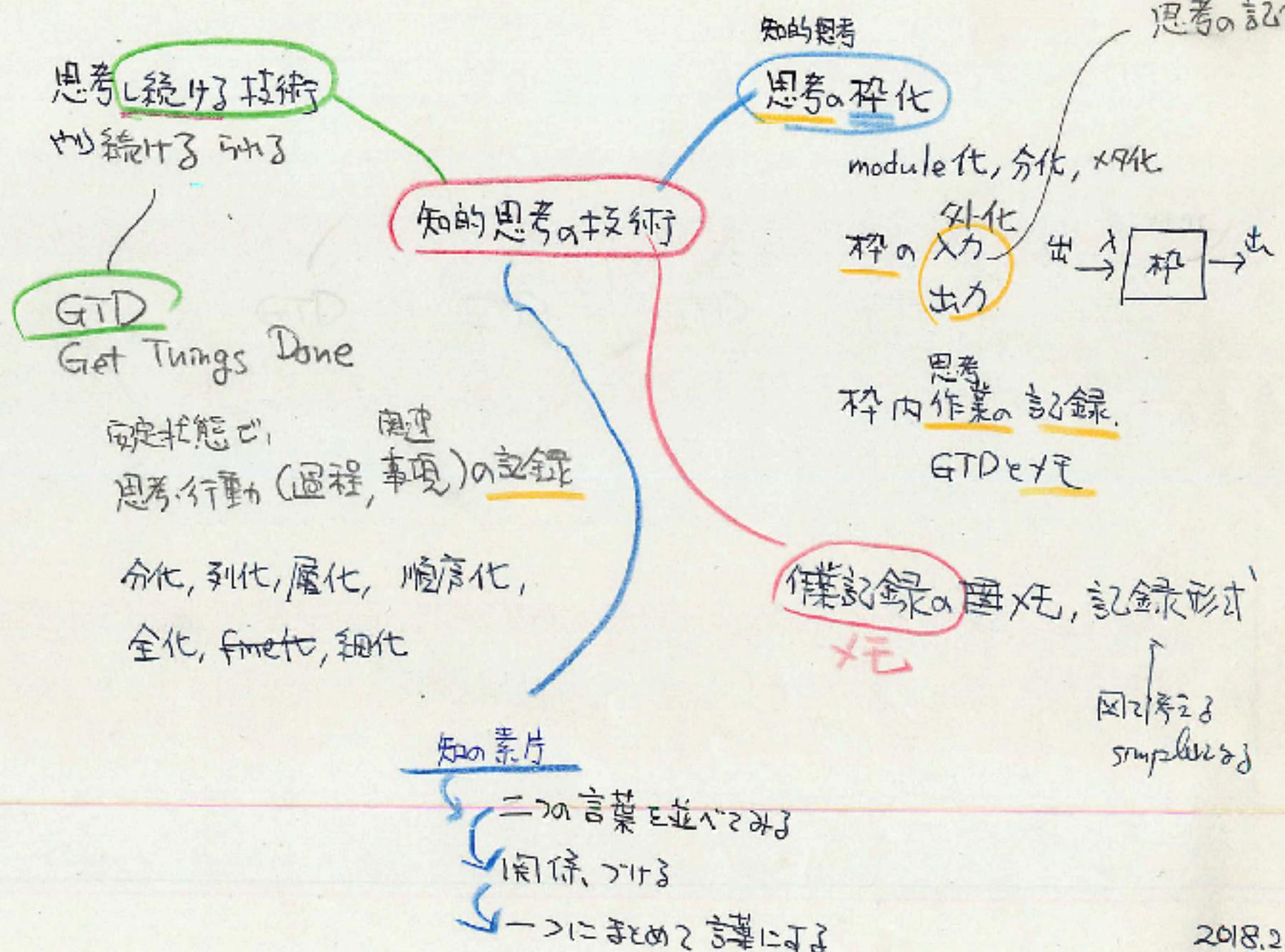
知の技術

思考して理解し知を得る



メモと思考について
考え方と、map

思考の記録



2018.2.2

2018.3.3
早朝

「`foo`」
外化

基本原理

抽象化とその逆

具体化

構造と関係、
item達と

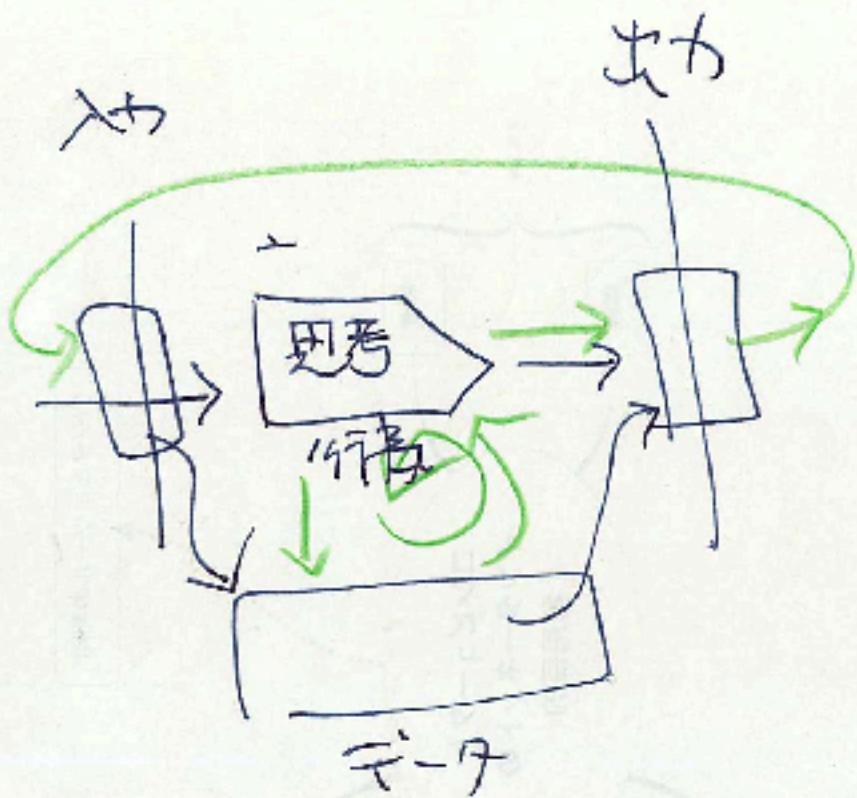
粹化と naming

入力と出力

itemと行語と
ナレッジ

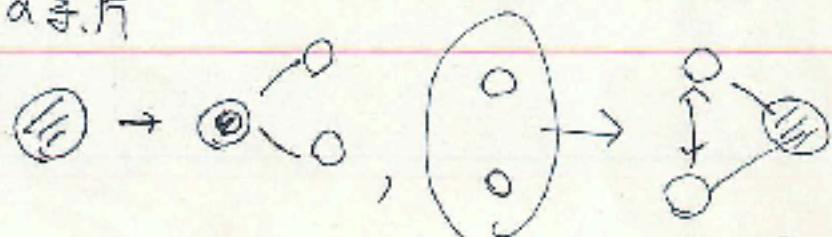
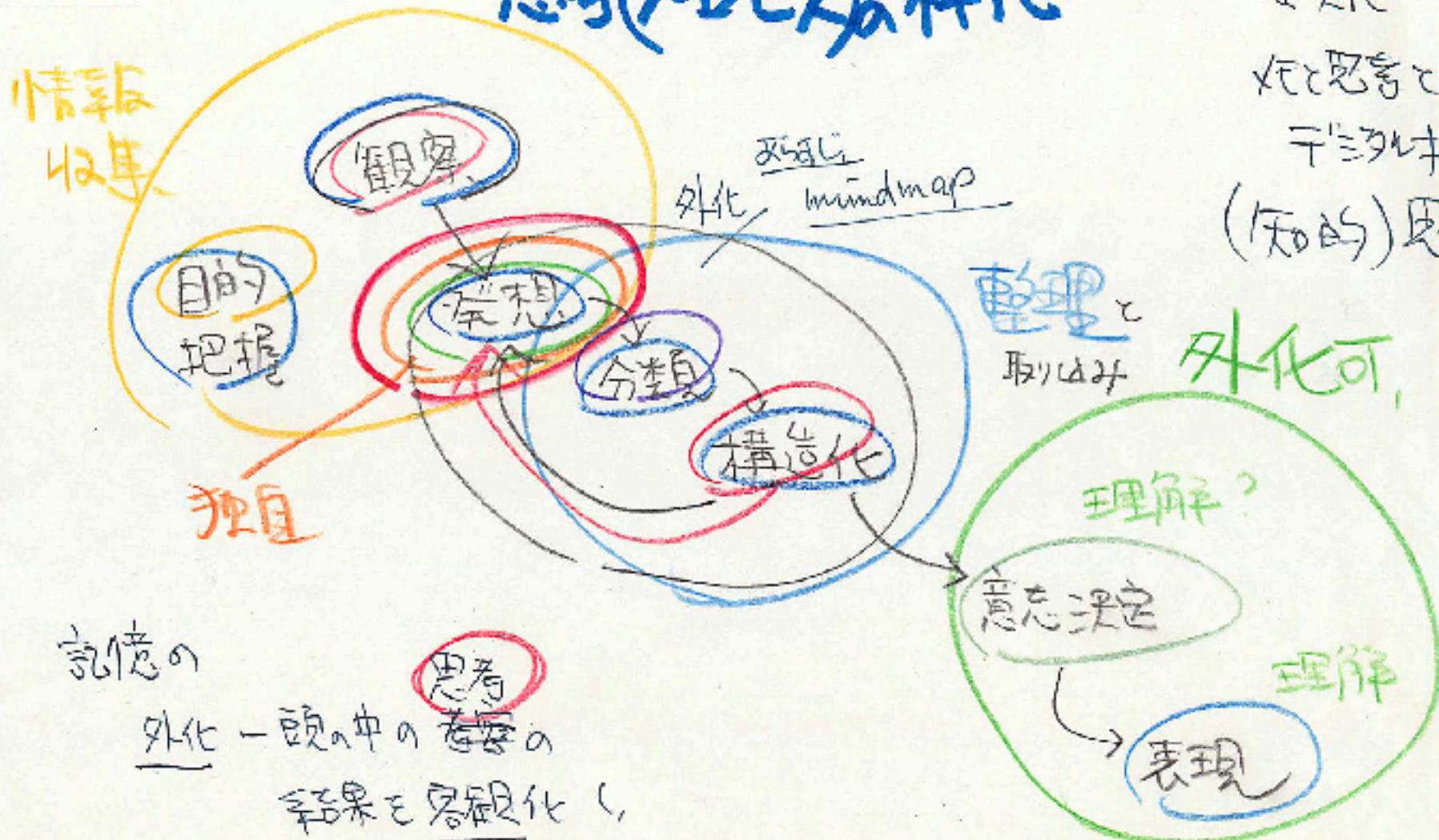
memo

入力と出力のデータ



思考(プロセス)の外化

要美化
外と見えて
干渉されづら
(知的)思考

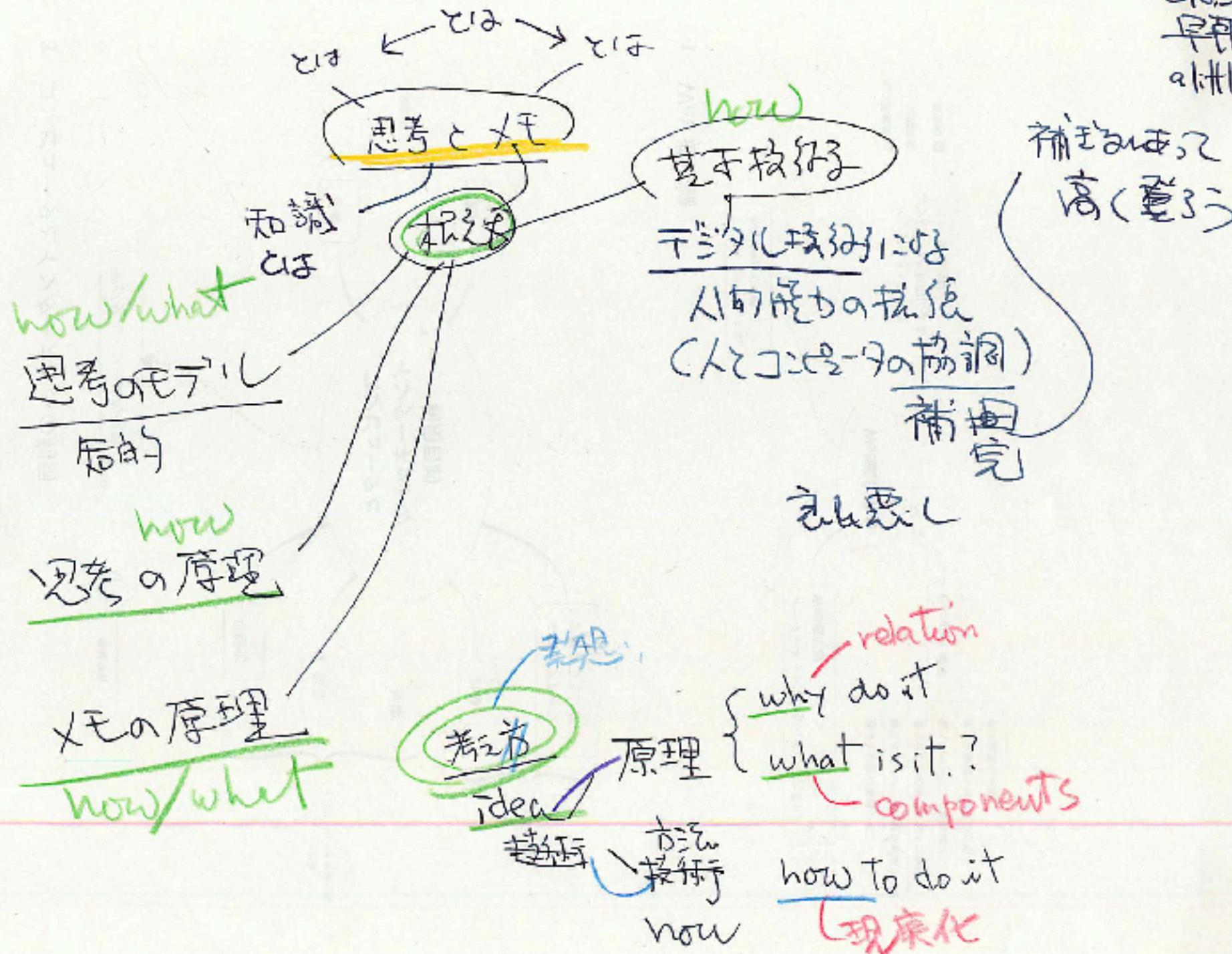


2018.2.19

2018.3.3

早朝

a little drunk



gitは?



by Computer



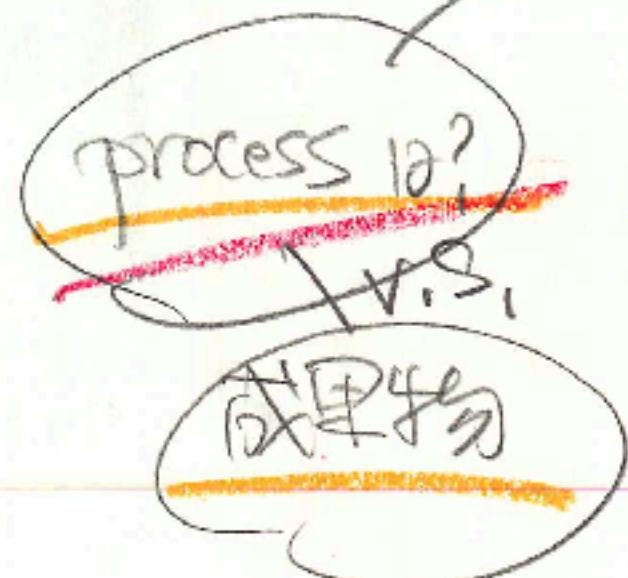
~~markup~~

~~standard~~

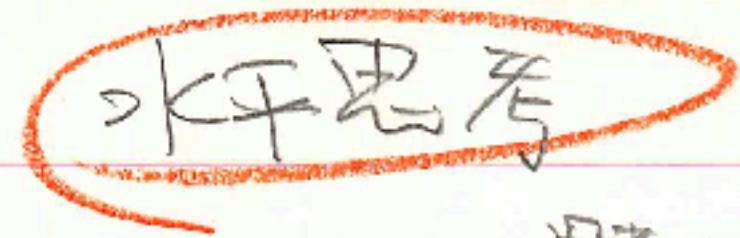
~~書式マーク~~

OPML

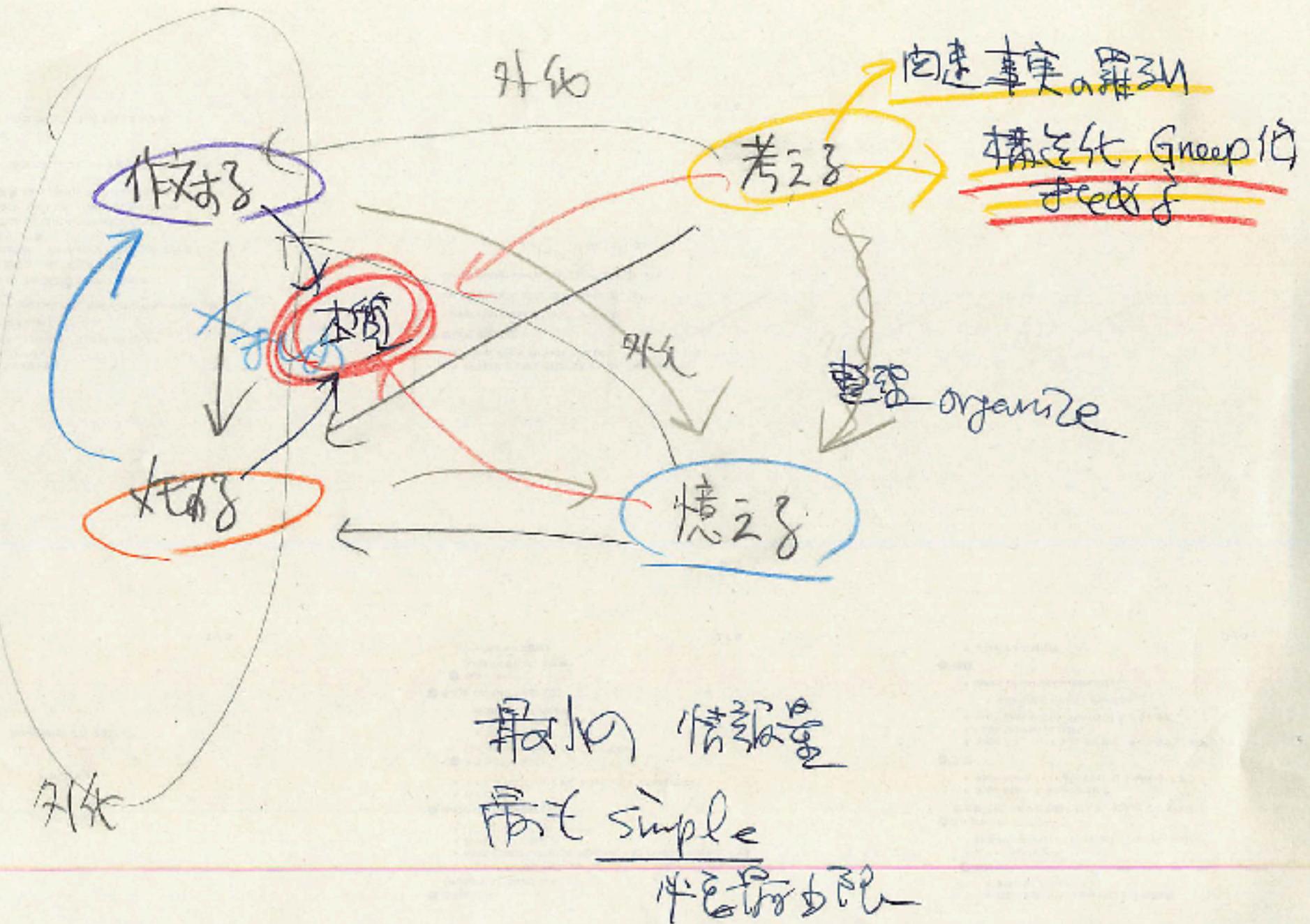
process は?



mind map



思考のためのテクニック



内連ぬもじやる事 の検討.

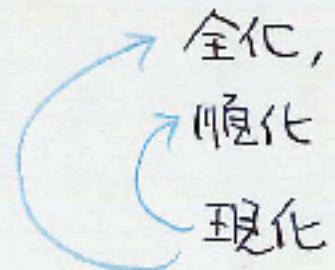


2017.12.25
思考とデジタル
ワール

thinking & programming

literating

技術を理解する！



領域に適して

記述<問題の
解説>の
言語

Domain Specific Language
DSL

抽象化
名前引子

広い意味での モダリング・ツール

考え方の
構造、やうす

- mode

再刊行
緒言

700七七八

北魏書

Autumn

۷۰۰

۲۷۱۷

物理-情報

2017.12.24

革新、これら

項目

時間順に並べることのみ有用

~~○ 超整理法~~

項目を並べる、

項目を今後並べる

ことと必ず並ぶ

と

思考とメモとデジタルツール

これも付け加えよう

GTDの関係は?

outline
全かこうがは別

全順序あること, universe

2018.1.11

超整理法

242

超「整理」法



分類を考える

ダメだよ。

書類の中身の理解

よりレベルで

複数の書類をまとめる

より半端の摘要レベルで

書類が適度に半立派なら

日記、年次会報

12月ごと

1ヶ月ごと

「他人の情報を
の整理法?」

GTDと同一
=どちら?

ごく特殊な状況
のことを

2018.1.11

思考するための GTD

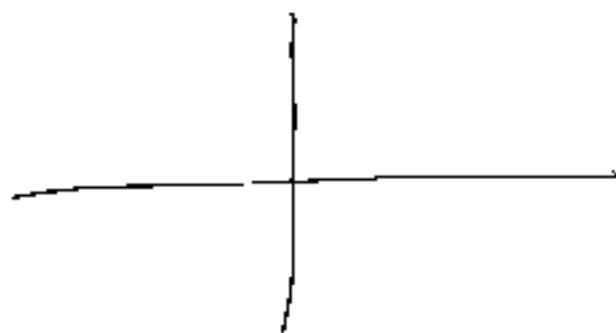
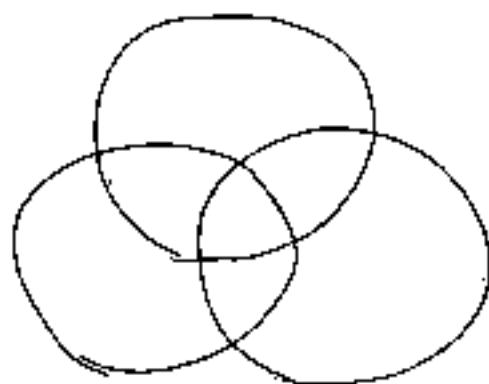
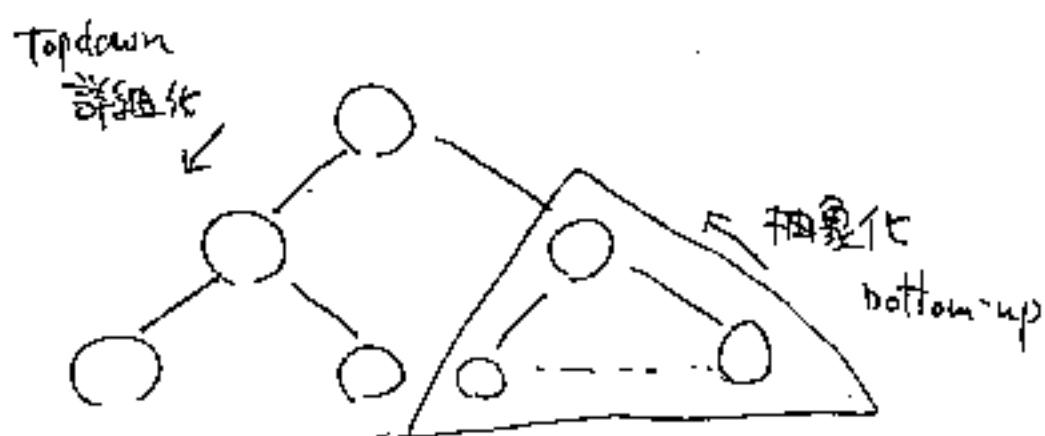
レッスン

メモの技術

生産性、効率化、管理でつなげる

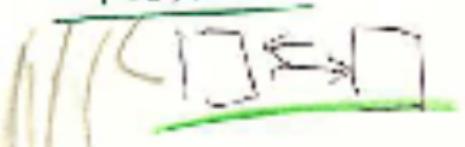
2018.1.24

1 図で考え方 \Rightarrow T^0 にはなさ



艾門-三文 (To buy) 2017.5.26

乙骨圖



肉象



Copy down

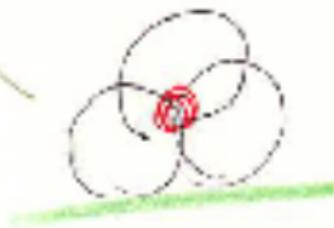
上→下
下→上

bottom up

往來

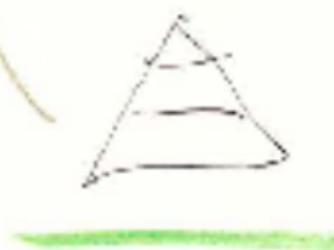
二互正言

→ → → sequence



共通

Common

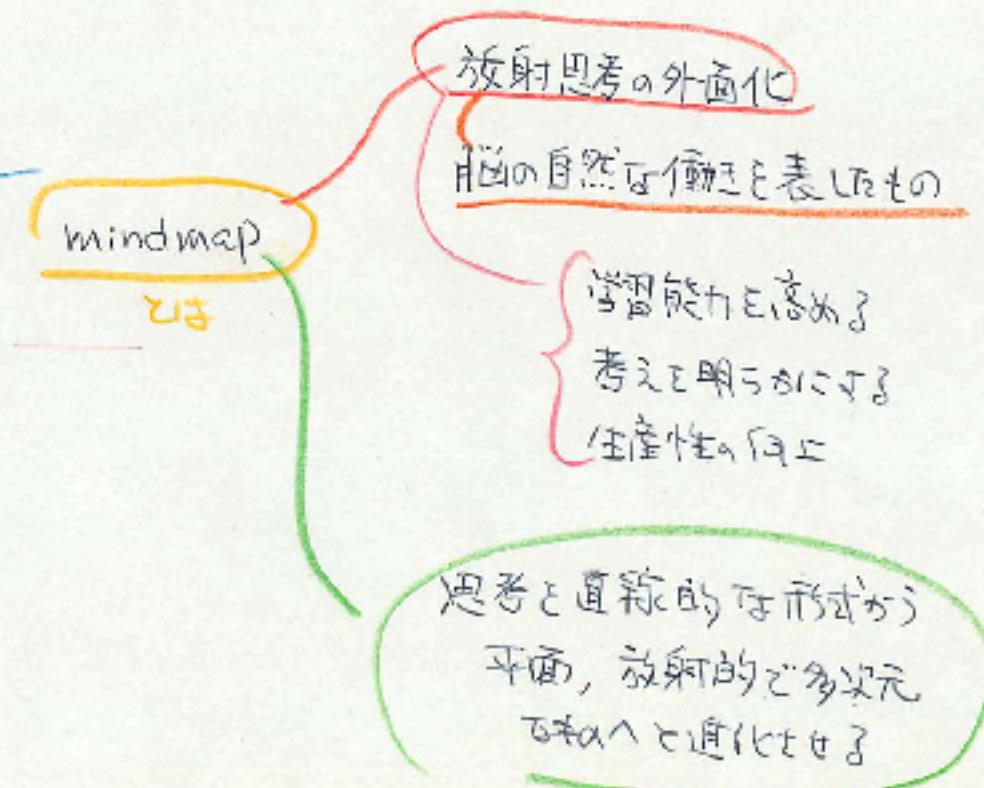


layer?

mindmap とは
思考は進化する

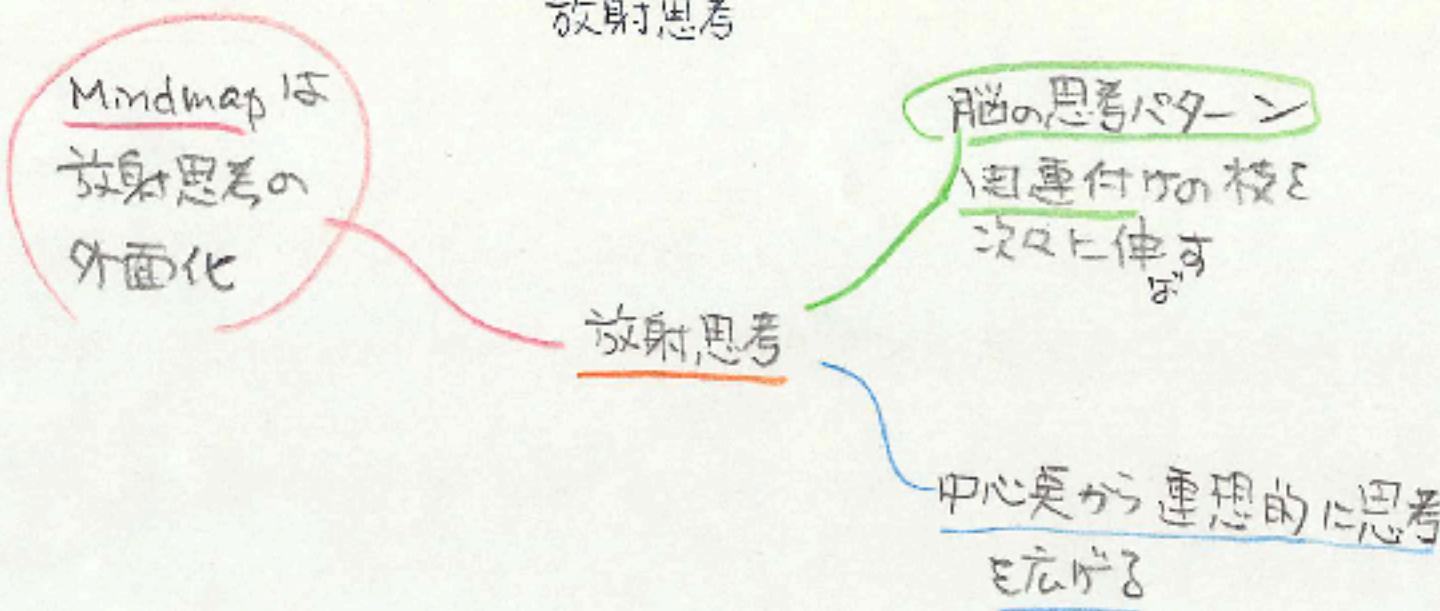
4つの特徴

- ① 中心イメージで「真の対象」の明確化
- ② 中心イメージから「枝葉」を枝葉形態に広げる
- ③ 人間固有の似一性言葉を
(重要な)つぶやく
- ④ 重要な言葉を
重要なものに付随する



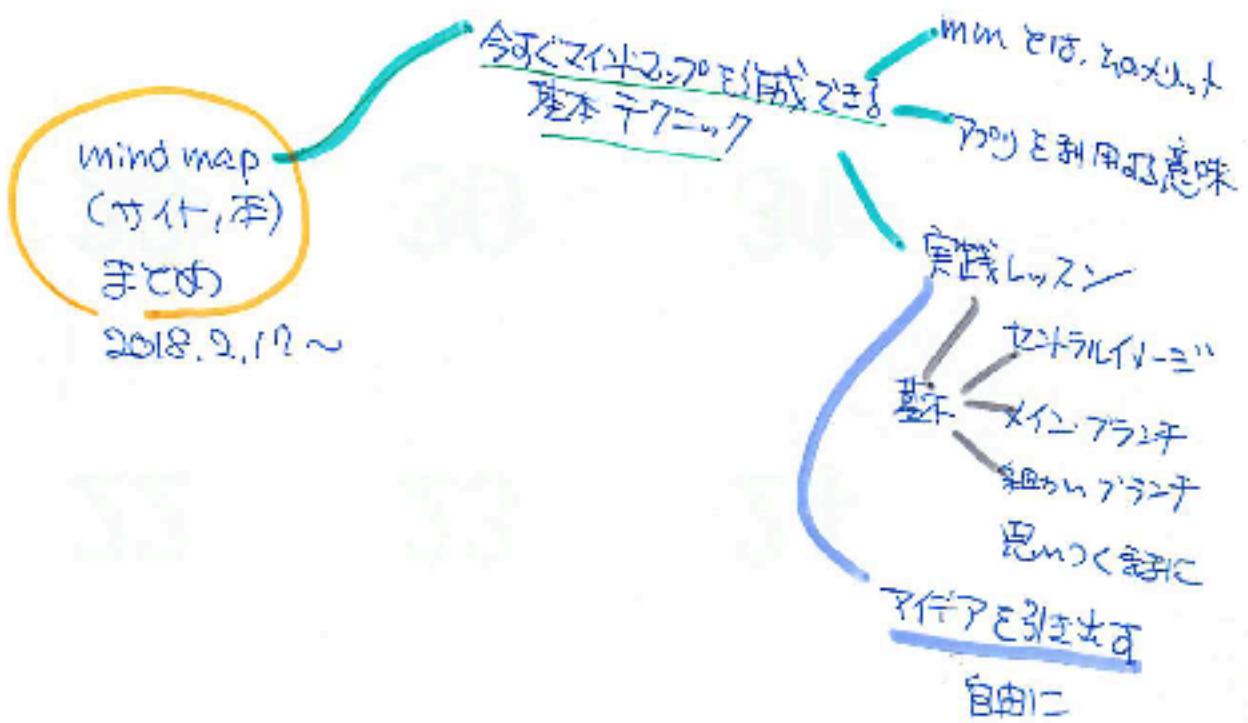
2018.5.30

mindmap



2018.5.30

mindmap



Mindmap本

Index 23

目的

1. 思考と発達させる新山
コンセプト 放射思考
2. ノウハウマップ Mind map
3. 思考のバランスは制御可能で
創造的思考能力は無限
4. 放射思考 体験
5. 新しい世界

Mind M

腦的運行

1. 感受 感覺與知覺
2. 數
3. 論理 概念, 分析
邏輯, 傳達關係
4. 行動
5. 情
6. 仁-三 思想
概念化
7. 瞭解把握
分析
歸類
組織

1. 受容

2. 保持

3. 分析

4. アウトプット

5. コントロール

退屈なトトに kind M
欠かしきもの 49

視覚的パターン

色

似一性(想像)

視覚化

空間把握

次元性

形態

画意

Mind(1)
普通のノートの4つめ

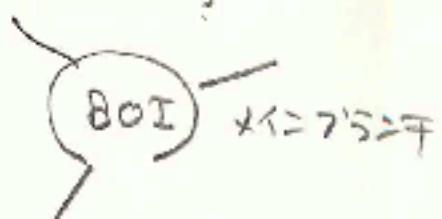
キーワードが不明確

記憶しない
算数、

浮遊感無駄なよ
不要なものも読み
キーワードを挙げる

自分の創造性を
刺激する

BOI 見つける方法 MHDN
8/6
基本アイデア 2019.8.24
base of idea?



どんな知識が求められる

章を見出しができる
(とねり)

具体的な目的は?

7つの重要な項目は?

基本的な意味は

why, what, where
who, how, when,
主と従

より大きな項目は

Mind Map >

Mind M
2017.8.24

普通のノート

¥87

関連語の記述

作成
保有
時間

カードに注目される

カードと関連を注目する

創造力と記憶
再生

新しい発見と認識

完全性や全体性への
意識

Mind M
2019.3月4日

→ 理論とミニマル思考

統計と抽象化

bottom up

Mind map

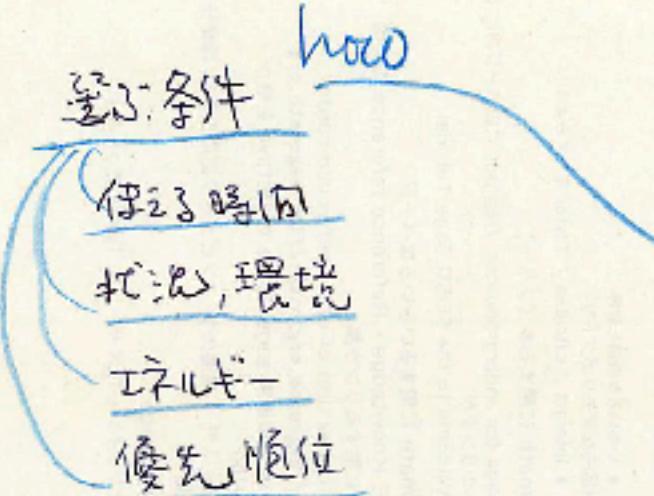
Top down

放射状思考

水平思考

下向

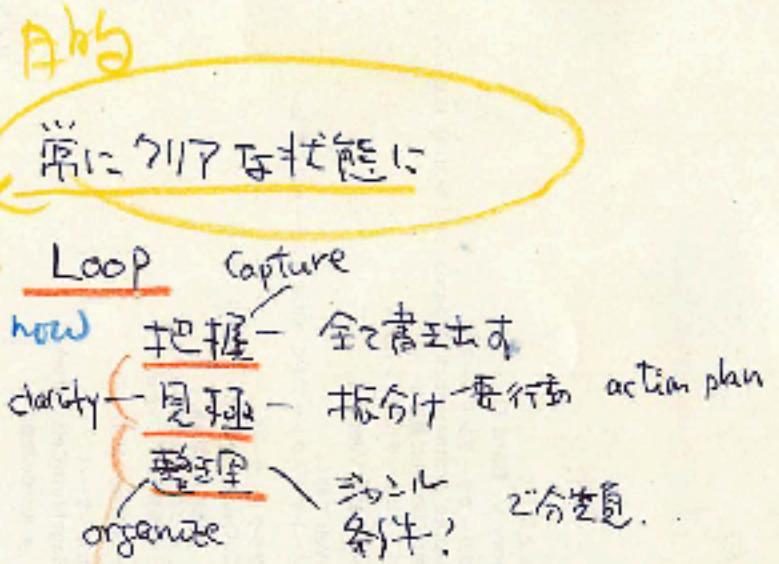
儀式, 2α GTD



GTD 完全229

DIS.S.I

webサイト



loop

X

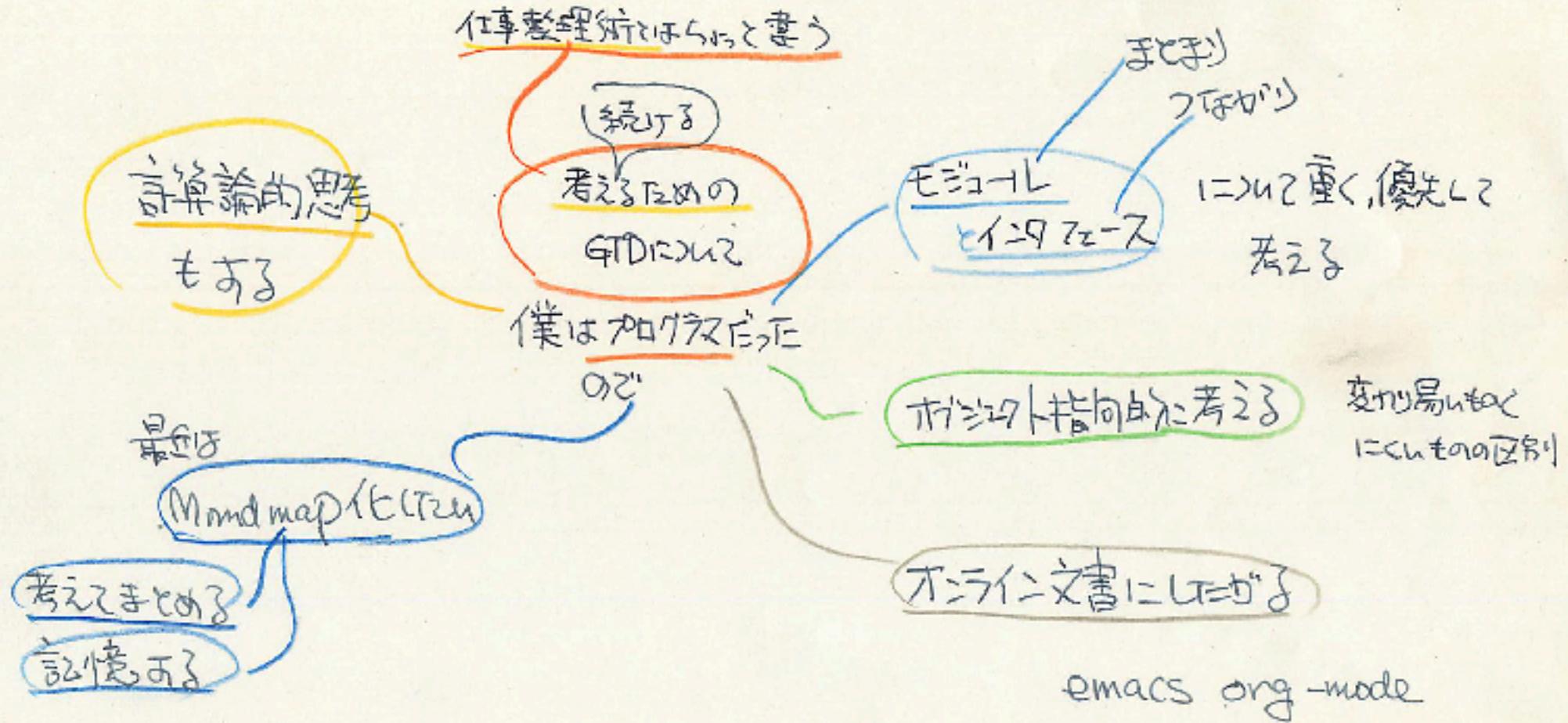
2032年
世界?
人類
下する系続化

更新する - 最新の状態と維持する
update
reflect

残株する
engage
select

how to GTD

2018.5.1



Getting Things Done

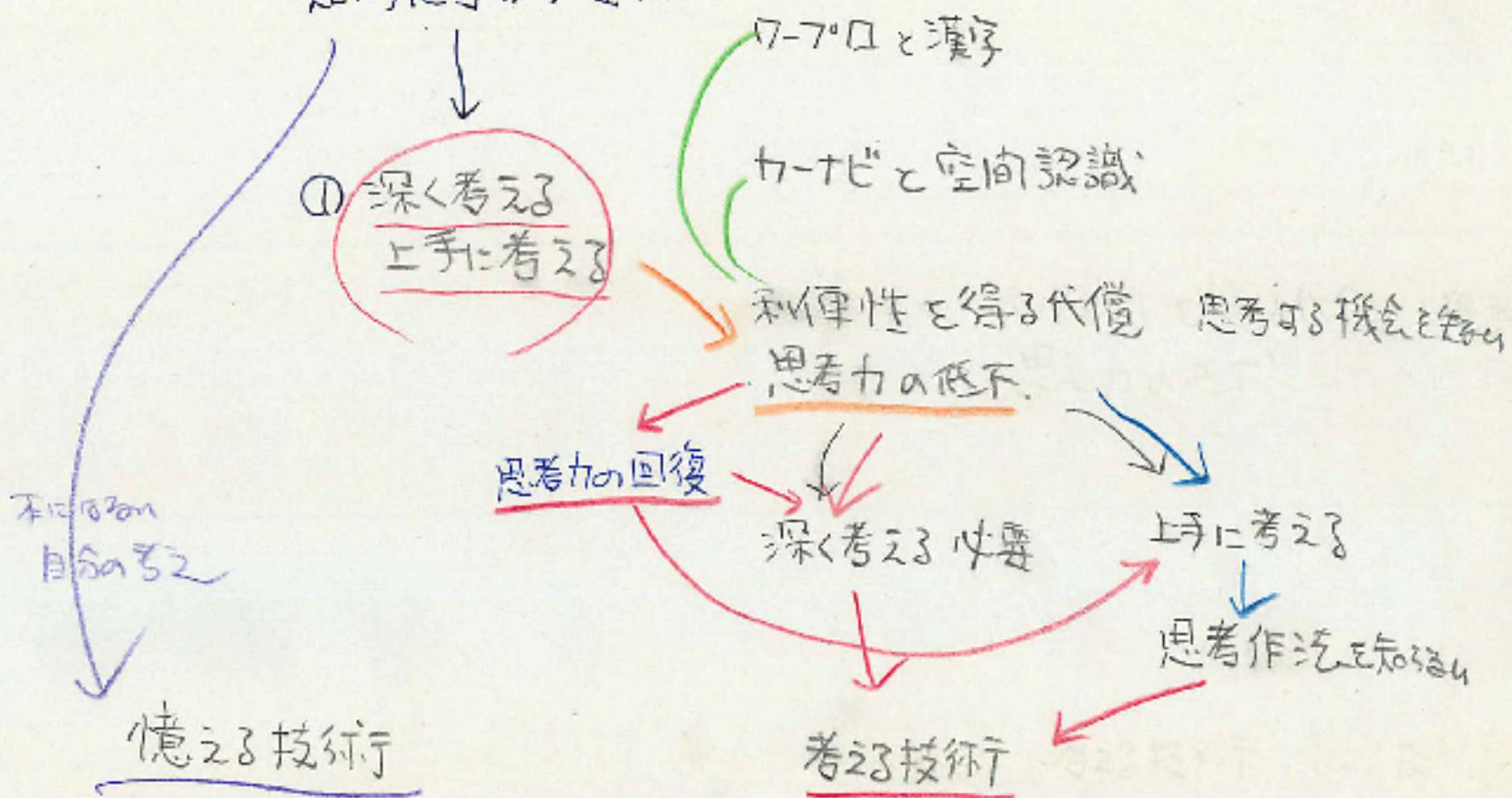
安定した状態にあること。

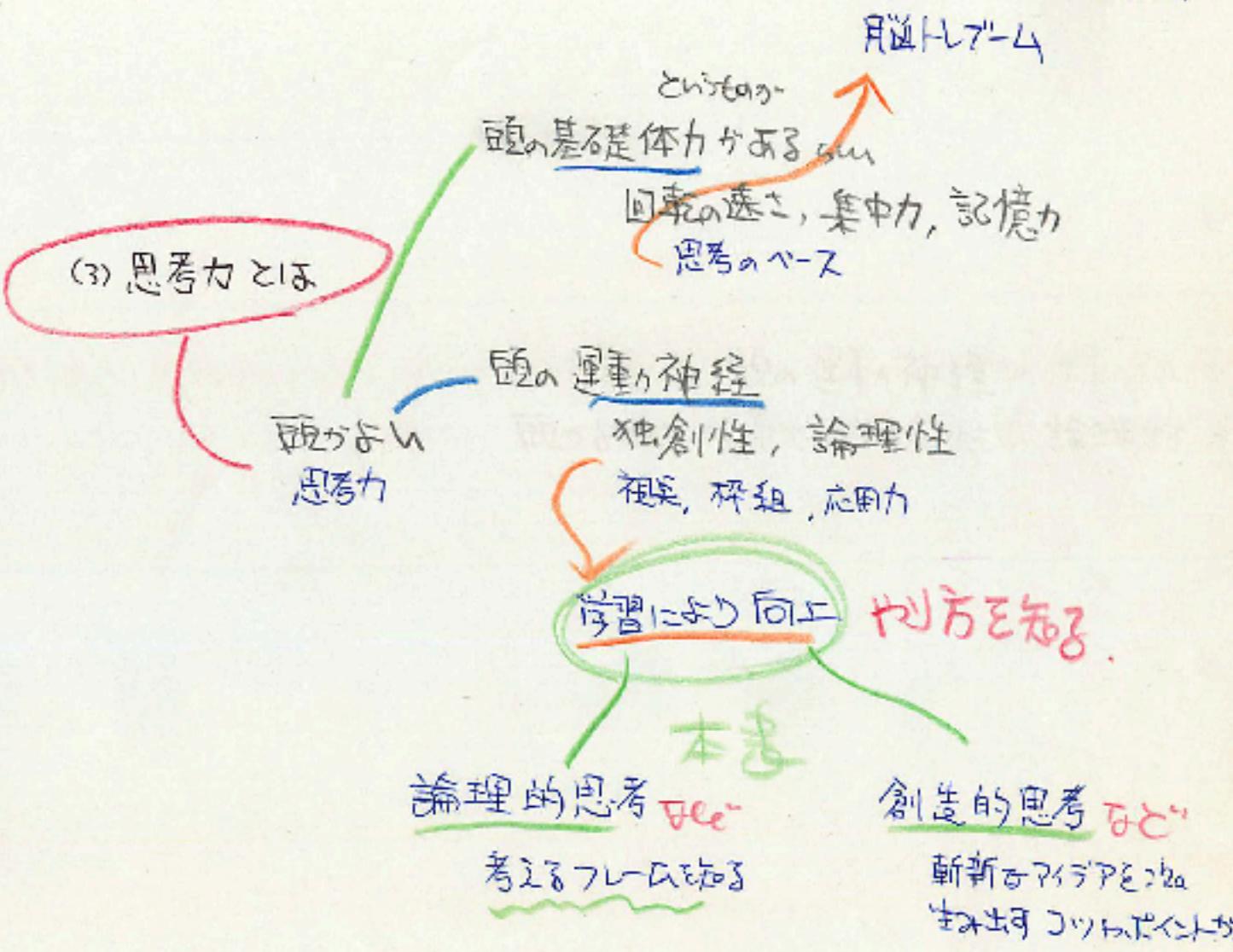
GTDとのりかわい

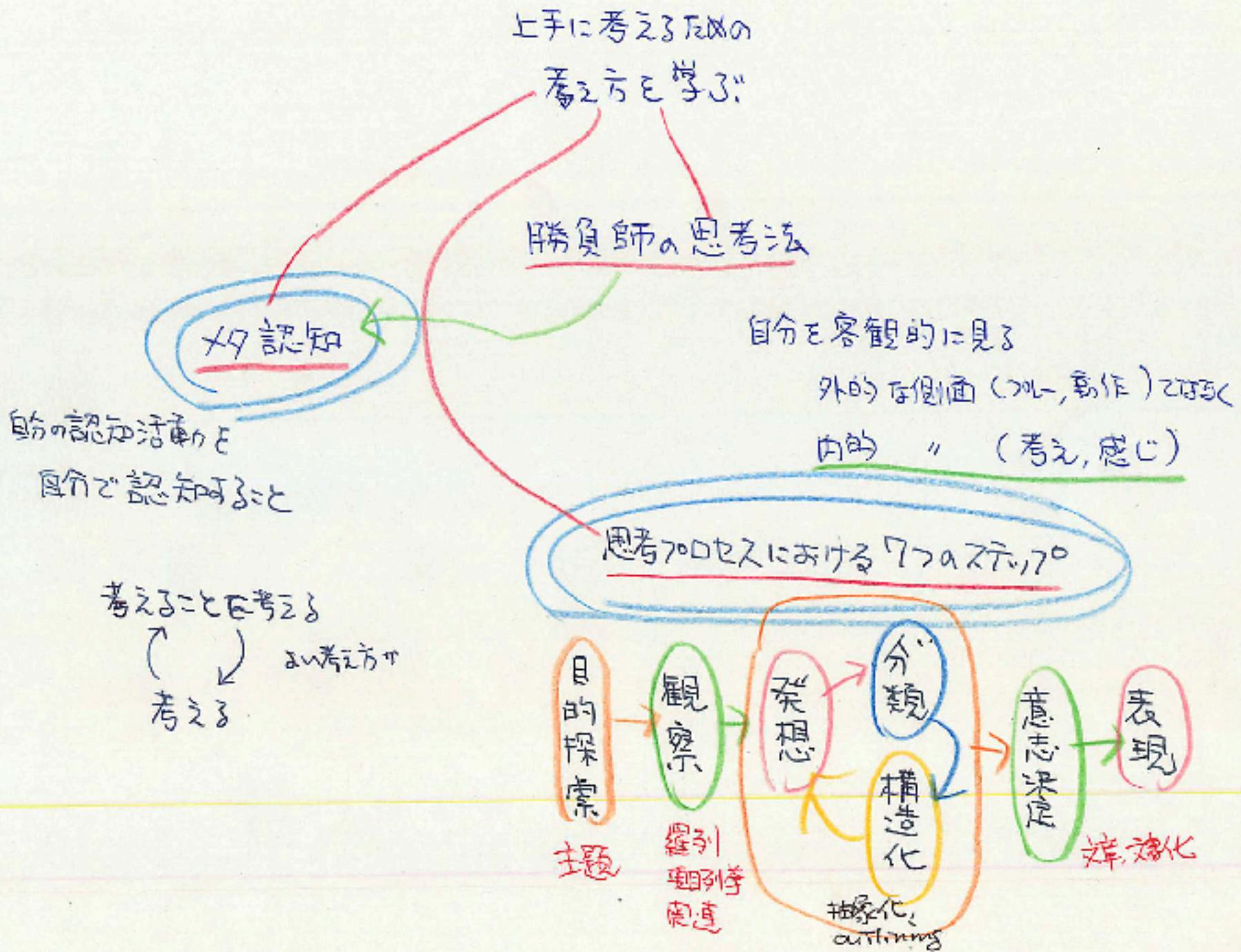
2018.4.28

高
思考700以上に到達
70%未満

知的思考の必要性







第1章 目的探索の思考

目的を明確にするには

1. 何のためにやる
のか、左末転到
要點：目的を考える

2. 必要性

日産や環境の変化に対
自分の行動と直面する性
の諸元が目的。

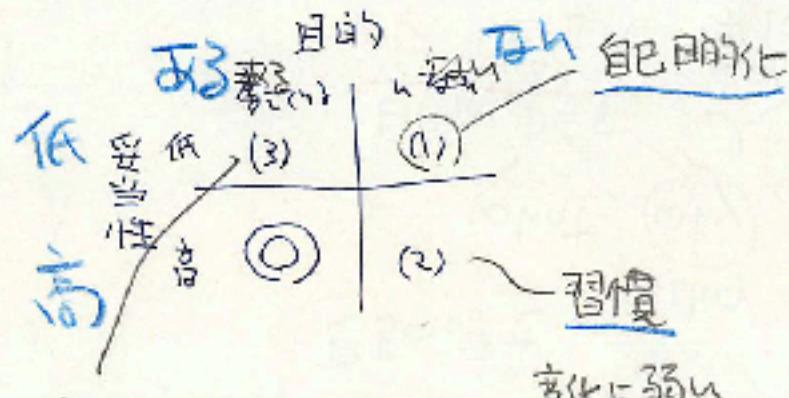
目的を見出す

妥当か?
妥当性変化ある

3. 目的探索の思考
の考え方

目的探索

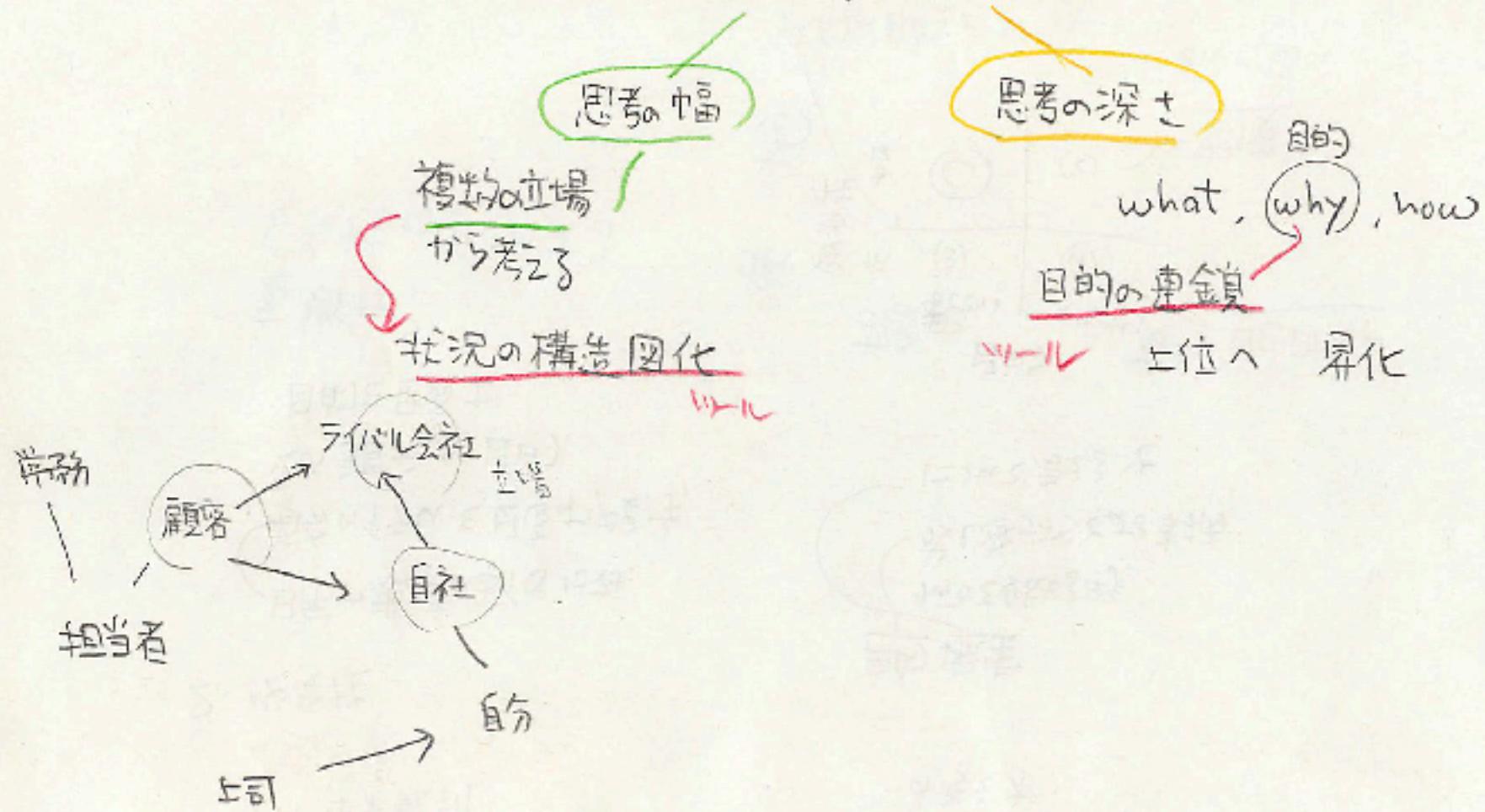
何を改める時、
成し遂げようとす事柄
について考える

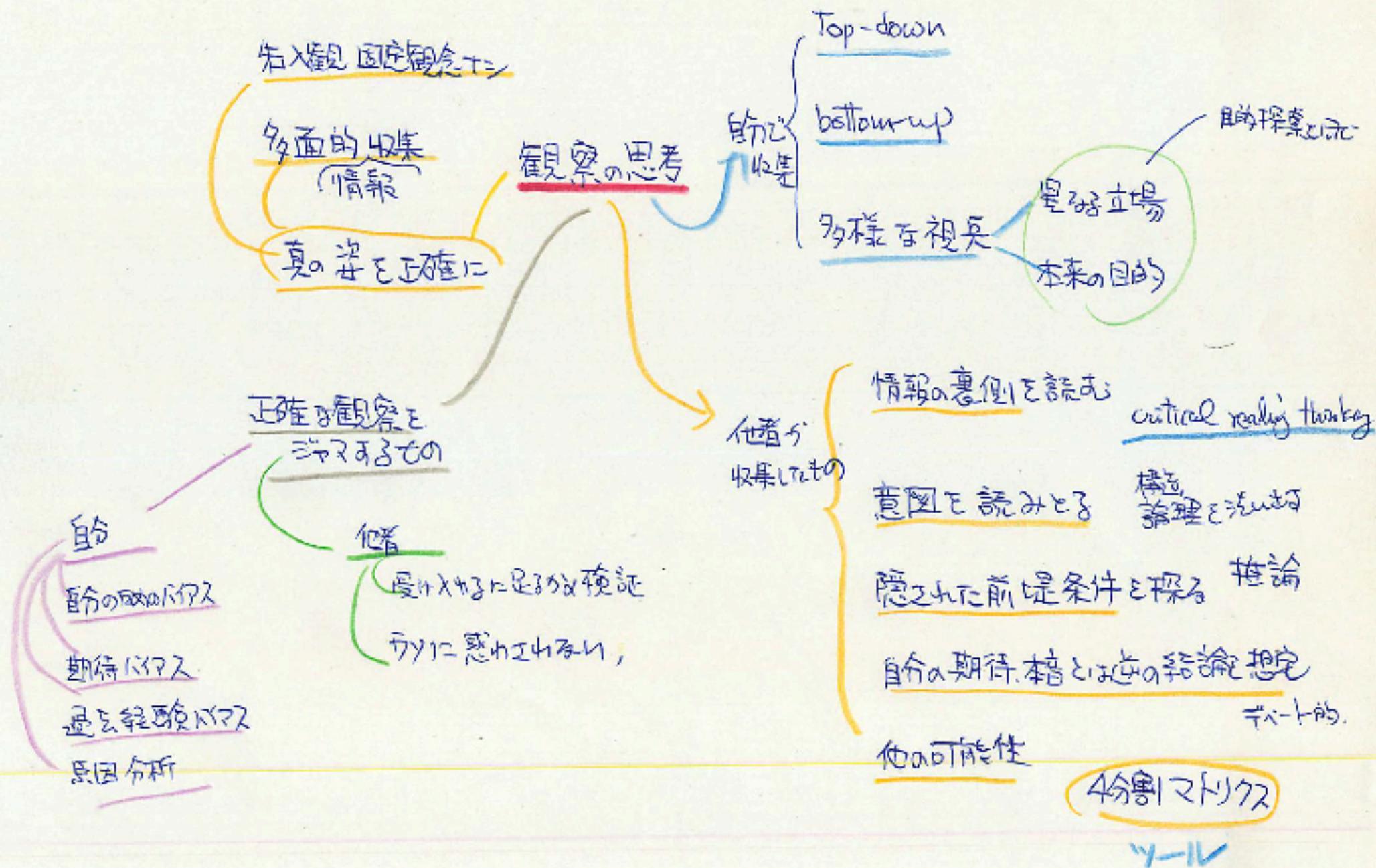


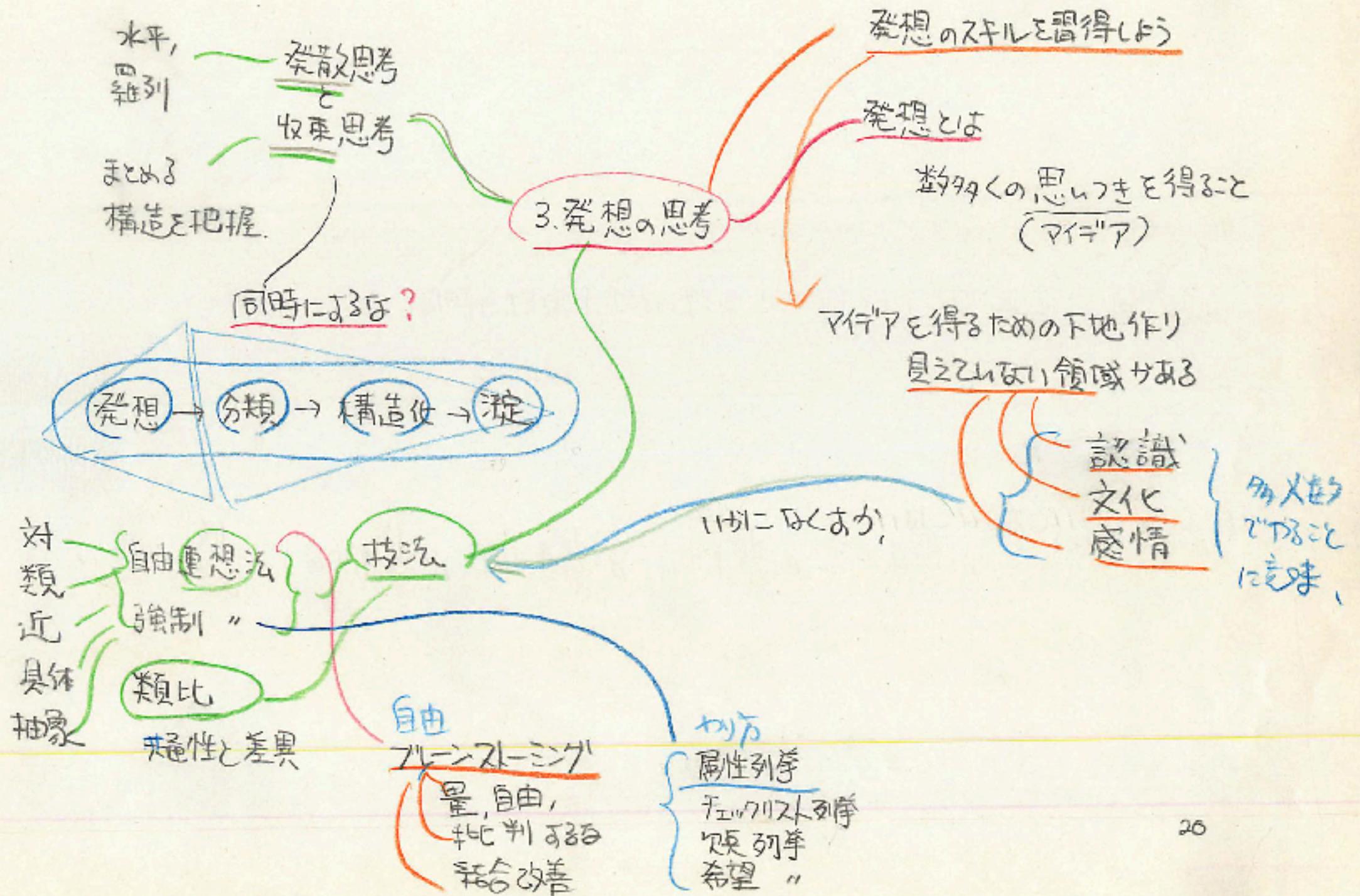
不適切の目的の

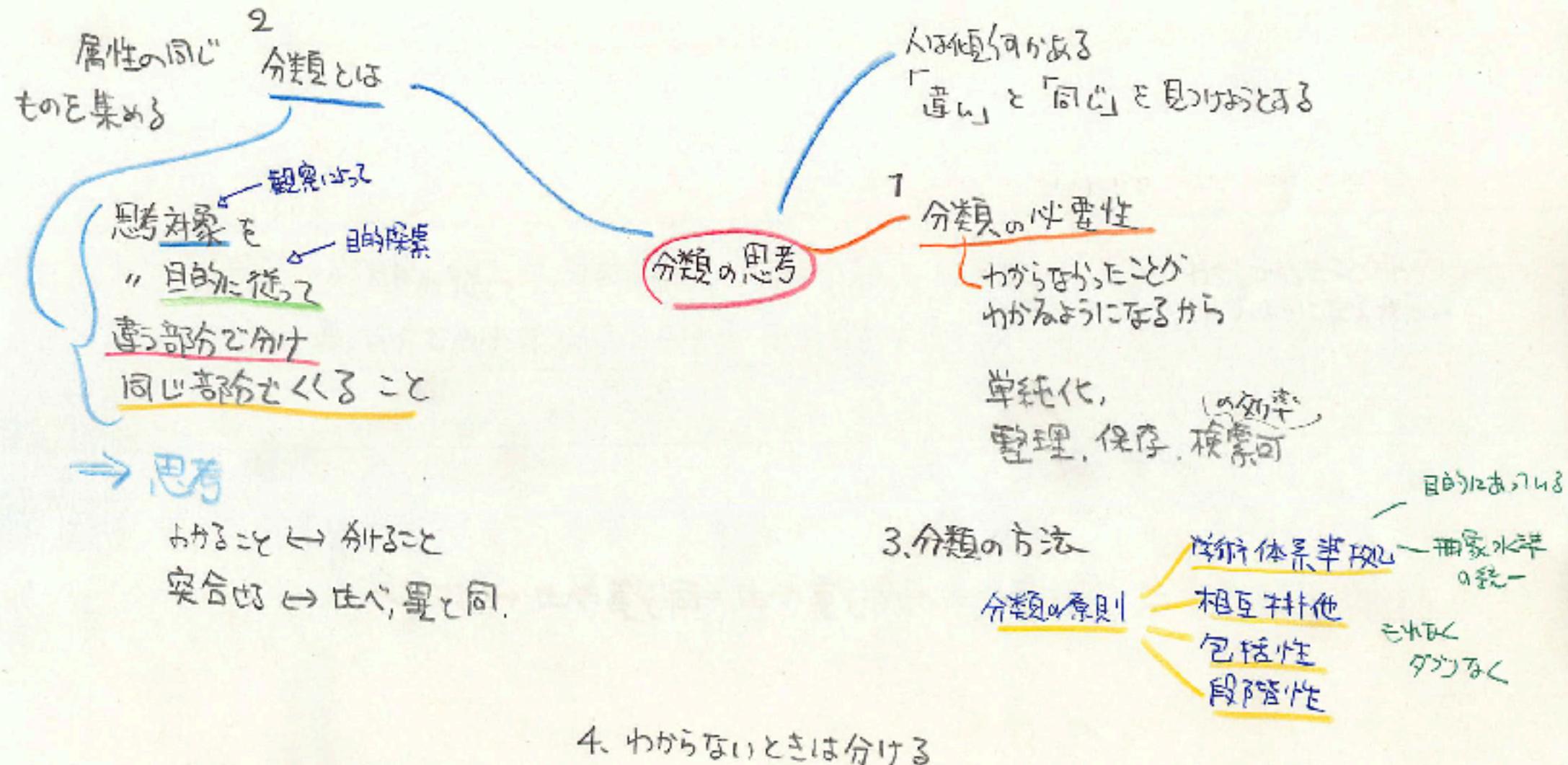
優先順位と同意う

4目的探査を正しく行なう









部分どうしの関係と
(グループ)
明らかにし、
全体の意味と理解
} とは
why

構造化の思考

意志決定の思考

図解で思考する

表現の思考

what
思考活動の結果を
具体的な形として
表わすこと

言葉で思考する

概念定義

言葉の定義を明確にする

文章による

数値で思考する

数える、比較、
数値化、分析

報道テレビ、新聞
を書くに見る能力
批評的能力
情報収集法
メディアを通じての五感

情報リテラシー≠メディア

「」

「」

データと情報と知識

生産

データの
まとめ
処理

情報の
組織と論理

目的的
公的
→ 知識
→ 理解
→ 認信

情報リテラシーのための (how)

6つの能力

收集
加工
分析

知識の獲得
情報の生成
情報の認信

italia にて 情報リテラシーの違い
パソコン操作の前に文書作成
日本ではよくキ情報を使っている
分析対象の情報 > 加工道具との
ハーフツウ?

「読み書きソロバン」による情報リテラシー原典

人間能力の原典 能の能力、地頭

読み解く

理解する

書き伝える

記憶する
知識の外化

数える、測る、

知識へ

人間が考える

my thought

新锐・情報リテラシ

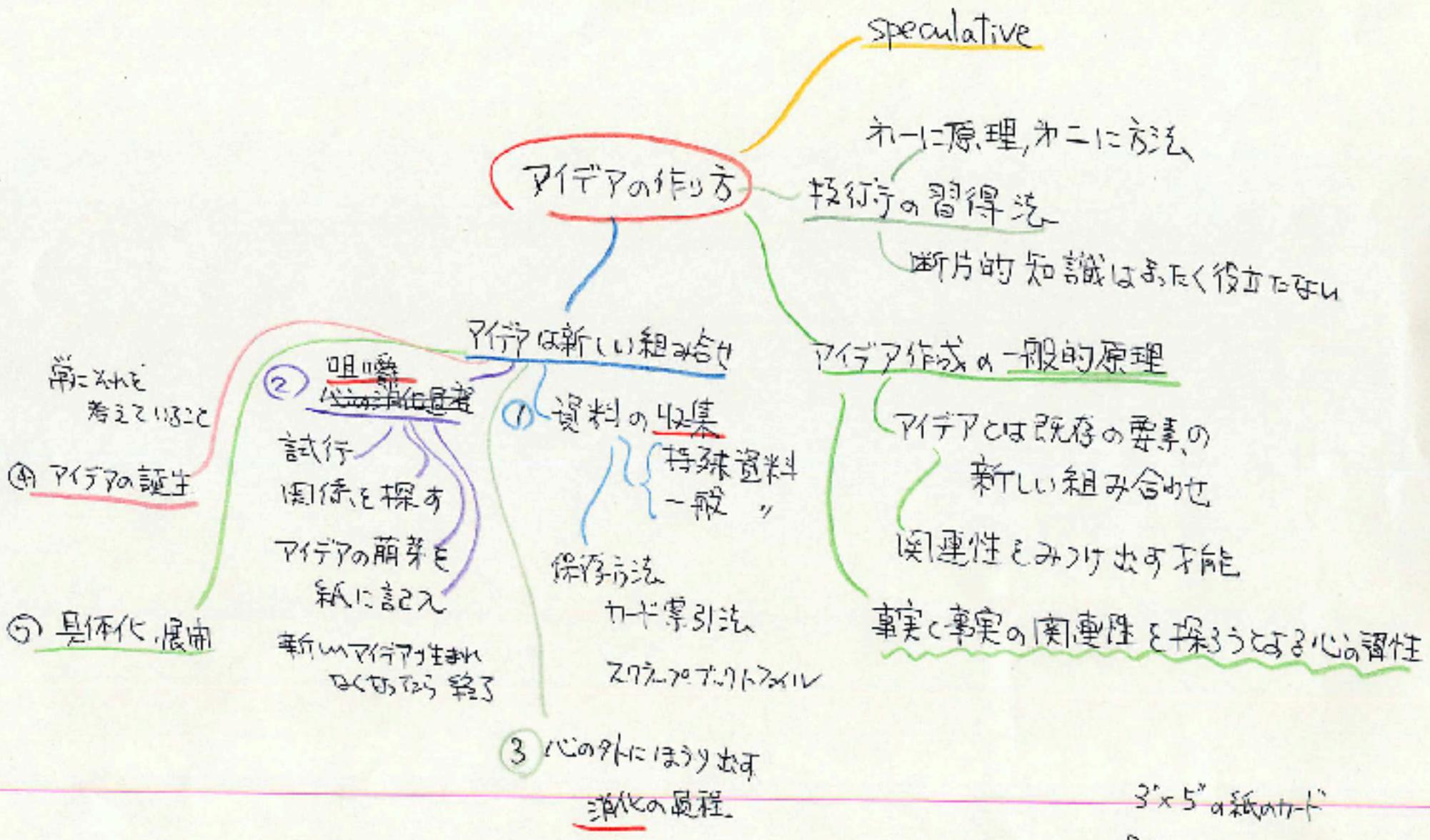


wikipedia等より

org-docs化

発想法

マイテアの作り方



3" x 5" の紙アート

2.6cm x 12.7cm

メモと思考とデジタル化技術

演習問題・候補

2018.3

マイント・マウスの説明

とマウスライナーも使って

「読み解く」

記憶

記録

理解

発想（アヘン）

思考

「モモと思考と
デジタル技術」

o 5H1W

最重要 「考之る」ことと「考之る」ことと
「考之る」ことと「考之る」ことと
出しますようにするこ

ズキナで取込む
見る

色鉛筆と紙

「思考の技術」

エラーワーク

「メモの技術」

「デジタル技術」

5001H

how

思考のプロセス
結果を記す

テ-マ

思考



what

テ-マ、事実、基礎
理解傾向、統合化

where

場所

why

理解傾向

when

anytime
いつでも
常に

who

自分

意味外れ

what

情報の保存、検索, PC

物理

データストレージ機能.

データ — 本, 文書, ...

where

PCへ

220V

干渉

when

?

データル移行

CG

who

with

I

why

動作停止

how

PC, データストレ